

2027年3月期 第1四半期 決算説明会資料

2026年 8月 7日
株式会社クレハ

I. 2027年3月期1Q実績

および2027年3月期通期予想のポイント

・本資料のポイント	(3) ~ (6)
・PVDF事業	(7)
・PGA事業	(8)
・配当	(9)

II. 資料

1. 2027年3月期 1Q業績

・セグメント別連結業績	(12) ~ (13)
・財政状態計算書	(14)
・キャッシュフロー実績	(15)

2. 2027年3月期 業績予想

・セグメント別連結業績予想	(17) ~ (18)
---------------	-------------

3. 主要指標

(20) ~ (22)

I. 2027年3月期1Q実績 および2027年3月期予想のポイント

本資料のポイント(1)

株式会社クレハ

売上・利益推移 (単位: 億円)

	27/3 1Q	26/3 1Q	1Q YoY
機能製品	166	155	11
化学製品	74	58	16
樹脂製品	111	87	24
建設関連	27	24	3
その他関連	43	41	2
売上収益	421	365	56
機能製品	30	1	29
化学製品	-1	-4	3
樹脂製品	24	16	8
建設関連	1	1	-1
その他関連	5	4	1
セグメント調整	1	1	-0
コア営業利益	59	19	40
その他収益・費用	-1	4	-5
営業利益	58	23	35
金融収益費用・税等	-15	-3	-13
当期利益	43	21	22
EBITDA	87	54	33

2027年3月期 1Q 前年同期比

- 2027年3月期1Qの前年同期比は、増収・増益となった。
- 売上収益は、機能製品のPGA、化学製品の農薬、樹脂製品の家庭用品を中心に対前年を大きく上回った。
PGAは、前年度に引き続き好調な市況および拡販により、1Qは過去最高の販売数量を記録した。農薬は、出荷時期変更により前年を上回った。家庭用品は、中東情勢の影響による消費者の備蓄的購買により売上が増加した。
- コア営業利益は、機能製品および樹脂製品で大きく増益。
機能製品は、在庫評価損の戻り益などによるPGA利益の大幅改善および持分法利益を含むPPS損益の改善により増益。樹脂製品は、中東情勢の影響による消費者の備蓄的購買で売上が増加し、増益。

為替レート	2027/3 1Q実績	2026/3 1Q実績	為替感応度 (営業利益・2027/3通期)
(円/ドル)	159.6	144.6	1ドル 1円の円安で、120百万円/年プラス
(円/ユーロ)	185.4	163.8	1ユーロ1円の円安で、20百万円/年プラス
(円/元)	23.4	20.0	1元 1円の円安で、40百万円/年プラス
原油価格前提	2027/3 1Q実績	2026/3 1Q実績	原油価格感応度 (営業利益・2027/3通期)
原油(Brent) (ドル/bbl)	95.6	66.5	原油 1\$/bbl の値上がりで、38百万円/年マイナス

KUREHA

コア営業利益: 営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

当期利益: 親会社の所有者に帰属する四半期利益

本資料のポイント(2)

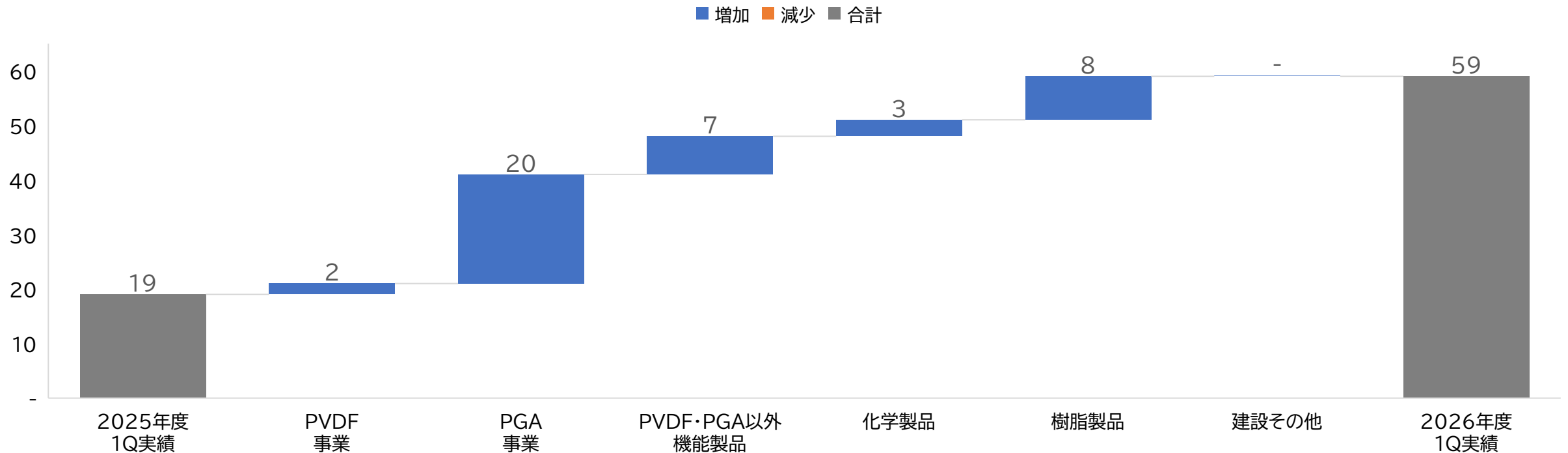
株式会社クレハ

<コア営業利益 増減要因分析:2027年3月期 第1四半期業績>

機能製品事業は在庫評価損の戻り益などによるPGA利益の大幅改善および持分法利益を含むPPS損益の改善によりコア営業利益増加。
樹脂製品事業においては、中東情勢の影響による消費者の備蓄的購買で売上が増加し、増益。

前年同期比

(単位:億円)



KUREHA

コア営業利益:営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

本資料のポイント(3)

株式会社クレハ

売上・利益推移

	27/3			26/3	
	今回予想			実績	差異
	1H	2H	通期	通期	YoY
機能製品	330	310	640	613	27
化学製品	155	160	315	295	20
樹脂製品	205	200	405	367	38
建設関連	85	110	195	160	35
その他関連	80	95	175	182	-7
売上収益	855	875	1,730	1,617	113
機能製品	24	-3	21	21	-0
化学製品	4	7	11	14	-3
樹脂製品	35	28	63	69	-6
建設関連	3	5	8	15	-7
その他関連	9	8	17	26	-9
コア営業利益	75	45	120	145	-25
その他収益・費用	-	-10	-10	-331	321
営業利益	75	35	110	-186	296
金融収益費用・税等	-25	-10	-35	79	-114
当期利益	50	25	75	-107	182
EBITDA	131	99	230	302	-72

(単位:億円)

27/3			差異 YoY
当初予想			
1H	2H	通期	
325	320	645	-5
135	165	300	15
200	205	405	-
90	105	195	-
85	90	175	-
835	885	1,720	10
14	1	15	6
-6	8	2	9
30	30	60	3
3	5	8	-
4	11	15	2
45	55	100	20
-	10	10	-20
45	65	110	-
-15	-20	-35	-
30	45	75	-
101	129	230	-

2027年3月期上期および通期 業績予想修正

<2027年3月期上期 業績予想修正>

- 売上収益は、化学製品の農薬の出荷時期変更などにより、上方修正する。
コア営業利益は、農薬の上増加や持分法利益増加により、上方修正する。
コア営業利益増加に伴い、営業利益、当期利益も上方修正する。
- なお、中間配当は当初予定通り。

<2027年3月期通期 業績予想修正>

- 売上収益は、化学製品の工業薬品の価格改定などにより、上方修正する。
コア営業利益は、工業薬品の収益性改善や持分法利益の増加により上方修正する。
- 営業利益、税引前利益および当期利益は、今後の事業環境の変化に加え、事業ポートフォリオ見直しや固定資産関連費用等の発生可能性を織り込み、2026年5月12日に公表した数値から変更しない。

為替レート	2027/3 1Q実績	2027/3 2Q以降前提	2026/3 通期実績	為替感応度 (営業利益・2027/3通期)
(円/ドル)	159.6	155.0	150.7	1ドル 1円の円安で、120百万円/年プラス
(円/ユーロ)	185.4	180.0	174.6	1ユーロ1円の円安で、20百万円/年プラス
(円/元)	23.4	22.0	21.2	1元 1円の円安で、40百万円/年プラス
原油価格前提	2027/3 1Q実績	2027/3 2Q以降前提	2026/3 通期実績	原油価格感応度 (営業利益・2027/3通期)
原油(Brent) (ドル/bbl)	96	100	70	原油 1\$/bbl の値上がりで、38百万円/年マイナス

コア営業利益: 営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

当期利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益

本資料のポイント(4)

株式会社クレハ

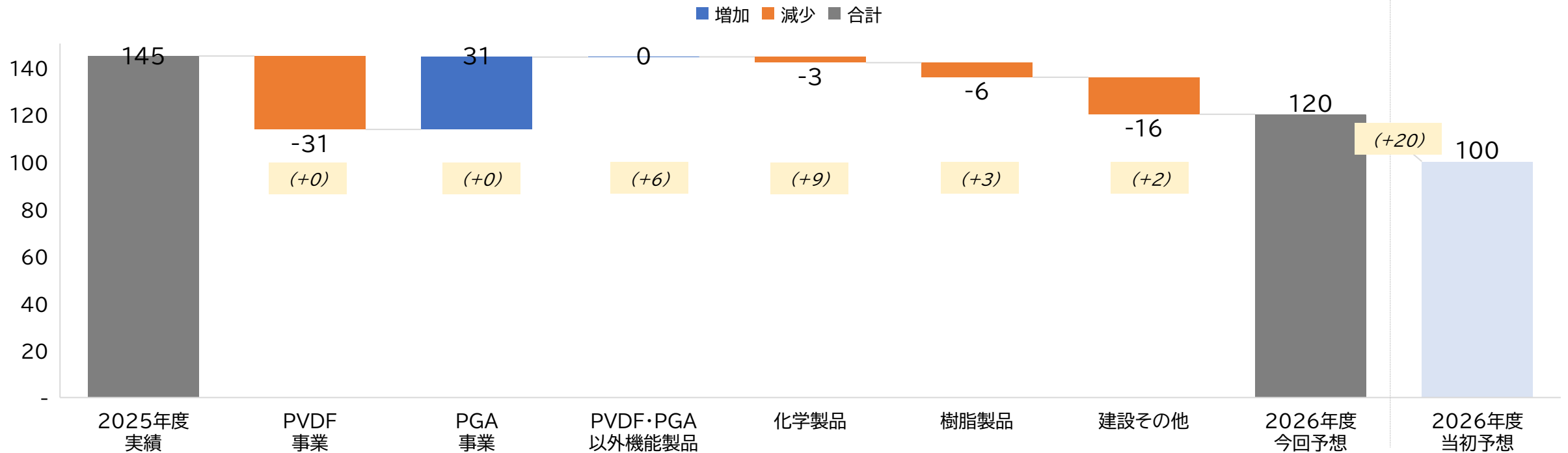
<コア営業利益 増減要因分析:2027年3月期 通期業績予想>

前年に比べ、PGA事業が大きく伸長するものの、PVDF、家庭用品、建設事業、環境事業などが減益となり、あわせて減益。一方で、2026年5月12日公表値(コア営業利益100億円)からは、20億円の改善を見込む。

前期比

(カッコ内の数字は2026年5月12日公表値からの変更額)

(単位:億円)



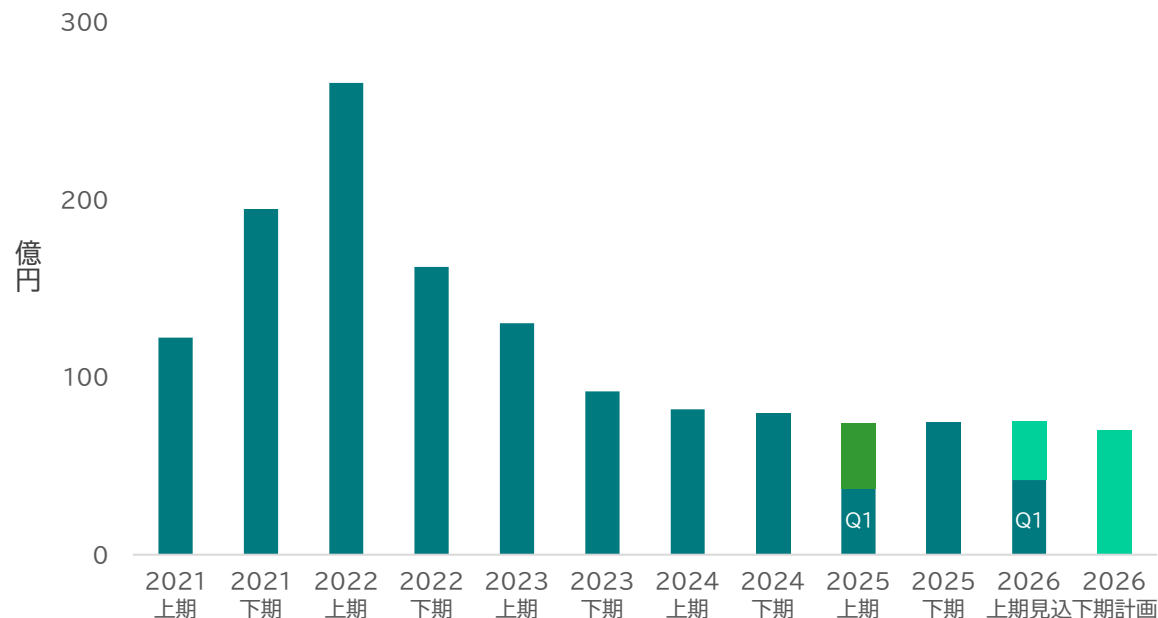
KUREHA

コア営業利益:営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

<市場概況>

- ・ 車載用途LiB需要は、中長期的では持続的に拡大する見通しに変更なし。短期的には、停滞した米国市場に変化は見られない一方、欧州ではドイツ・フランス・スペインなどにおいてEV補助金制度が復活した。
- ・ ESS用途のLiB需要は、引き続きデータセンター向けの増加により市場拡大が続く。欧米EV市場の停滞を受け、LiBメーカーの生産はESS向けへのシフトが進んでいる。

<PVDF売上収益の推移>



<損益の状況>

- ・ 1QはESS用途が販売数量、金額ともに前年を上回った。一方、当初計画に対し、車載用途が想定を上回ったものの、ESS用途の販売が大幅に想定を下回り、数量、金額ともに計画を下回った。車載用途上振れの背景としては地政学的リスクの高まり、欧州での補助金再開が考えられるが、現時点で回復基調に戻ったとまでは見通せていない。
- ・ ESS用途販売は、既存グレードで販売を開始していた特定の顧客において、採用構成に変化があったことから、2Q以降販売が低下する見込み。これにより当初ESS比率がPVDF全体数量の3割弱まで拡大する想定であったが、15%程度となる可能性がある。2Q以降の販売計画を慎重に見極めるとともに、付加価値の高いLFP系新グレード開発による新規案件獲得を目指す。
- ・ 車載用途販売の上振れ、既存案件の進捗等から、現時点では当初利益計画から変更は行っていないものの、車載用途およびESS用途販売について慎重に精査を行う。

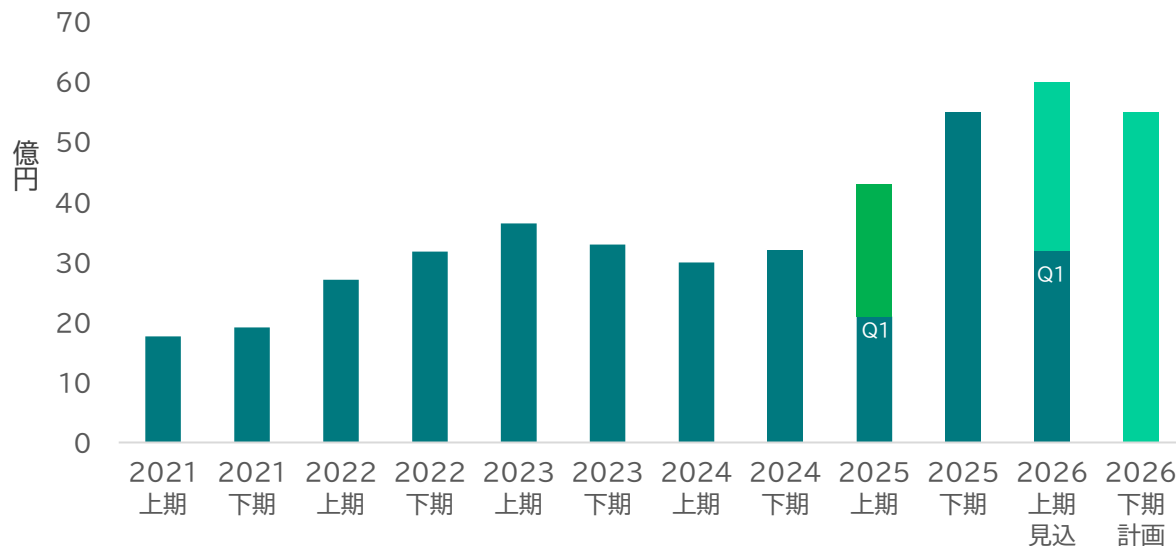
<施策進捗>

- ・ いわき事業所の能力増強は2026年4月に完工。2026年度下期より、一部設備を固定資産に編入予定。(当初計画から変更なし)
- ・ LFP系(ESSおよびEV用途)の付加価値の高い新グレード開発については複数の顧客で評価中。
- ・ 既存グレードの拡販においては、新規中国中堅LiBメーカーから採用内定。次年度以降の販売数量増となる見込である。

<市場概況>

- データセンター向け発電用ガスの旺盛な需要やLNG輸出能力の増加を背景に天然ガス市況は好調を維持してしており、ガス鉱区(高温)の生産活動は活発な状態が続いている。
- 中東情勢緊迫化後のオイル価格上昇により、仕上げ井戸数は増加する可能性があり、動向を注視しているが、現時点で短期的に大きな変化は見られない。

<PGA売上収益の推移>



<損益の状況>

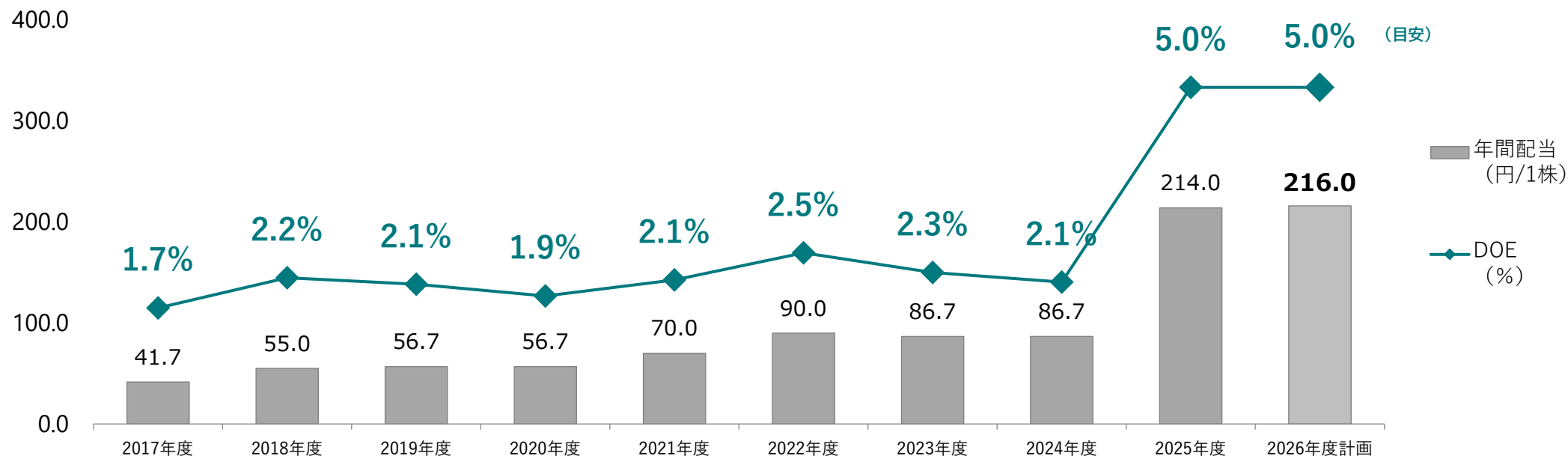
- 前年度に引き続き好調な市況および拡販により、1Qは過去最高の販売数量を記録し、前年の売上収益を大きく上回った。利益は在庫評価損の戻り益などにより増益。
- 米国での樹脂生産は、4月に計画通りに開始した。足元で販売に必要な樹脂量を確保し、予定より早めに生産を停止した。次回生産の開始は9月からを予定している。
- 2Q以降も好調な販売を見込むものの、樹脂在庫繰りの観点から2026年度中は中高温向け生産・販売を優先する方針に変更する。
- 現時点で年間の売上収益および利益計画に変更なし。

<施策進捗>

- 低温・超低温プラグは、フィールドトライアルによる顧客評価を進めているが、樹脂在庫の関係上、既存顧客(中高温)への販売を優先することから、本格的な販売は2027年度以降を予定する。
- ショート化プラグへの切り替えは1Qで70%程度と順調に進捗しており、2026年度年間目標80%は達成する見込み。
- 米国樹脂生産については改善が見られるものの、安定操業の確認にはなお時間を要する。
- 2026年度に事業損益が黒字化しない場合には、抜本的な事業構造見直しを検討する。

利益配分は、将来の事業展開に向けた積極投資に資する内部留保を充実させつつ、安定的な配当が基本方針
2027年度以降もDOE5%を目安とした配当を計画
想定以上の事業環境変化が生じた場合、もしくは想定以上の成長投資を実施した場合には、機動的にDOEの配当率を見直す

<1株あたり年間配当およびDOEの推移>



2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で分割しています。すべて2024年1月の分割後に換算して表示しております。

Ⅱ. 資料

1. 2027年3月期 1Q業績
2. 2027年3月期 通期業績予想
3. 主要指標

1. 2027年3月期 1Q業績

セグメント別連結業績

株式会社クレハ

機能製品セグメント

	2027年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減 額	増減 率
PVDF	42	37	5	13%
PGA	32	21	11	51%
その他	36	39	-3	-8%
機能樹脂	110	97	13	13%
炭素製品	20	21	-1	-5%
その他	37	37	-0	-1%
売上収益	166	155	11	7%
コア営業利益	30	1	29	2809%

<前年同期比 増収・増益>

機能樹脂

PVDFのESS用途の販売増、およびPGA販売増により増収。
持分法利益を含むPPS損益の改善、PGAの在庫評価損の戻り益により増益。

化学製品セグメント

(単位:億円)

	2027年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減 額	増減 率
農薬	18	7	10	142%
医薬品	7	5	2	42%
ライフサイエンス	25	12	12	102%
工業薬品	24	22	2	11%
その他	25	24	1	4%
売上収益	74	58	16	27%
コア営業利益	-1	-4	3	-68%

<前年同期比 増収・増益>

農薬・医薬

農薬における前期との販売タイミングの差異等による増益により、増収・増益。

工業薬品

有機薬品で増収も、原材料価格の上昇により、減益。
(価格転嫁影響は2Q以降に反映)

KUREHA

セグメント別連結業績

株式会社クレハ

樹脂製品セグメント

	2027年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減 額	増減 率
家庭用品	73	52	21	40%
釣糸	16	15	1	8%
業務用包材	10	10	1	9%
その他	12	11	1	13%
売上収益	111	87	24	28%
コア営業利益	24	16	8	52%

<前年同期比 増収・増益>

家庭用品

中東情勢の影響による消費者の備蓄的購買により、家庭用ラップ「NEWクレラップ」の販売が増加し、増収・増益。

建設関連セグメント

(単位:億円)

	2027年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減 額	増減 率
売上収益	27	24	3	11%
コア営業利益	1	1	-1	-46%

その他関連セグメント

	2027年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減 額	増減 率
環境事業	28	26	2	9%
運送事業	4	4	-0	-5%
病院事業	11	11	0	0%
その他	1	1	-0	-12%
売上収益	43	41	2	5%
コア営業利益	5	4	1	22%

コア営業利益:営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

財政状態計算書

株式会社クレハ

資産

	2026年 6月末	2026年 3月末	増減
現金・現金同等物	301	297	4
営業・その他債権	282	326	-43
棚卸資産	451	434	17
その他流動資産	52	52	1
流動資産 計	1,086	1,109	-22
有形固定資産	1,499	1,471	28
無形固定資産	47	49	-2
投資等	802	756	46
非流動資産 計	2,348	2,276	72
資産 合計	3,434	3,384	50

負債及び資本

(単位:億円)

	2026年 6月末	2026年 3月末	増減
営業・その他債務	211	210	1
有利子負債	1,279	1,242	36
引当金	63	79	-16
その他負債	169	181	-12
負債 計	1,722	1,713	9
資本金	182	182	-
資本剰余金	147	147	-
自己株式	-64	-373	309
利益剰余金	1,156	1,454	-298
その他の資本	271	243	28
非支配株主持分	20	19	1
資本 計	1,712	1,672	40
負債・資本 合計	3,434	3,384	50

※1 … 自己株式消却△309、利益剰余金から振替+309 他

※2 … 自己株式消却+309 他

※3 … 資本剰余金へ振替△309、当期利益+43、配当△40 他

KUREHA

キャッシュフロー実績

株式会社クレハ

(単位:億円)

	2027年 3月期 1Q	2026年 3月期 1Q	増減	
税引前当期利益	59	28	30	
減価償却費および償却費	29	31	△2	
その他	△12	2	△14	※1
営業キャッシュフロー	75	61	14	
投資キャッシュフロー	△69	△42	△28	※2
フリーキャッシュフロー	6	19	△14	
財務キャッシュフロー	△7	△13	6	※3
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	5	△3	8	
現金及び現金同等物の増減額	4	4	0	
現金及び現金同等物の期首残高	297	215	82	
現金及び現金同等物の期末残高	301	219	82	

※1 … 非資金損益である持分法投資利益の増加▲10 他

※2 … PVDF生産設備増設▲21 他

※3 … 短期借入金▲317
 コマーシャルペーパー発行▲50
 支払配当増加▲18
 自己株式取得+391

KUREHA

2. 2027年3月期 通期業績予想

セグメント別連結業績予想

株式会社クレハ

機能製品セグメント

	2027年 3月期 今回予想	2026年 3月期 実績	増減 額	増減 率
PVDF	145	149	-4	-2%
PGA	115	98	17	17%
その他	160	149	11	7%
機能樹脂	420	396	24	6%
炭素製品	85	79	6	8%
その他	135	138	-3	-2%
売上収益	640	613	27	4%
コア営業利益	21	21	-0	-2%

<前期比 増収・利益前年並み>

機能樹脂

PGA・PPSを中心に、増収。

PGAが黒字化するも、PVDFがいわき事業所の能力増強に伴う一部設備の償却開始、前年度にあった在庫評価損の戻し益がなくなることなどにより減益となり、利益は前年並み。

化学製品セグメント

(単位:億円)

	2027年 3月期 今回予想	2026年 3月期 実績	増減 額	増減 率
農薬	80	72	8	10%
医薬品	30	33	-3	-9%
ライフサイエンス	110	105	5	4%
工業薬品	110	92	18	19%
その他	95	97	-2	-2%
売上収益	315	295	20	7%
コア営業利益	11	14	-3	-19%

<前期比 増収・減益>

農薬・医薬

農薬で増収となるも、研究開発費の増加により減益。

工業薬品

原燃料価格上昇分の価格転嫁を実施し、増収。

コア営業利益:営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

セグメント別連結業績予想

株式会社クレハ

樹脂製品セグメント

	2027年 3月期 今回予想	2026年 3月期 実績	増減 額	増減 率
家庭用品	245	227	18	8%
釣糸	65	58	7	11%
業務用包材	50	39	11	27%
その他	45	43	2	6%
売上収益	405	367	38	10%
コア営業利益	63	69	-6	-9%

<樹脂製品セグメント前期比 増収・減益>

家庭用品・釣り糸

家庭用ラップ「NEWクレラップ」および釣り糸「シーガー」の販売は増加するも、販売促進費の増加と原燃料価格の上昇から、増収・減益。

<その他関連セグメント前期比 減収・減益>

環境事業

低濃度PCBの処理期限(2026年度末)到来により、処理案件が減少し、減収・減益。

建設関連セグメント

(単位:億円)

	2027年 3月期 今回予想	2026年 3月期 実績	増減 額	増減 率
売上収益	195	160	35	22%
コア営業利益	8	15	-7	-48%

その他関連セグメント

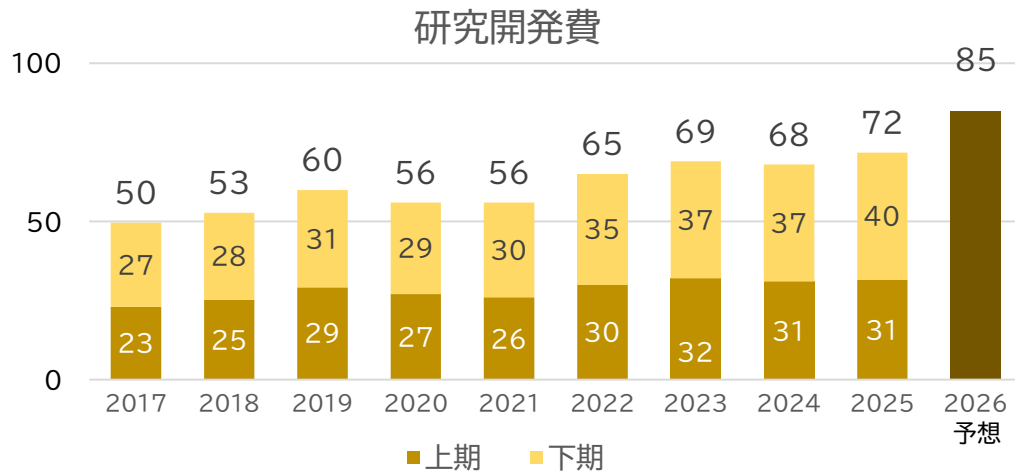
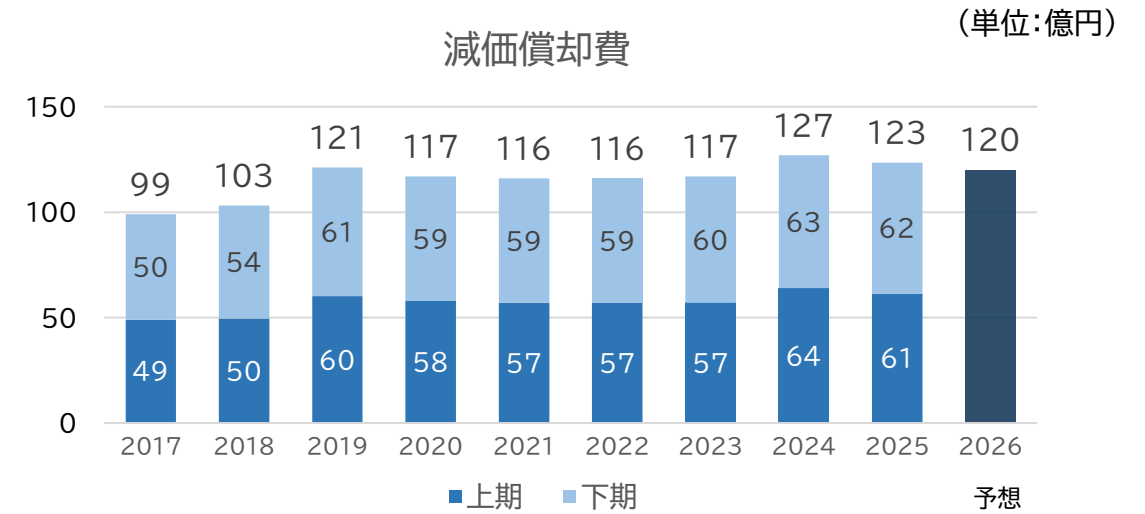
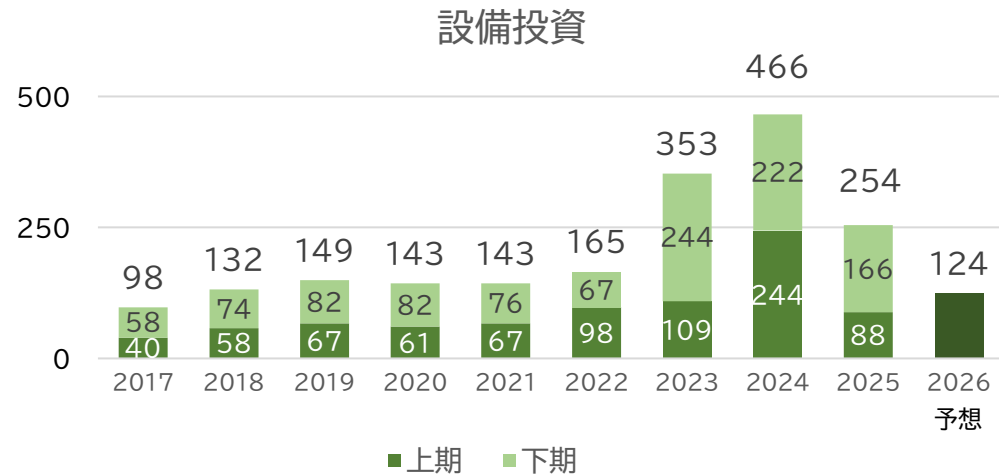
	2027年 3月期 今回予想	2026年 3月期 実績	増減 額	増減 率
環境事業	115	120	-5	-4%
運送事業	10	15	-5	-33%
病院事業	45	43	2	4%
その他	5	4	1	30%
売上収益	175	182	-7	-4%
コア営業利益	17	26	-9	-34%

コア営業利益:営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

3.主要指標

主要指標(1)

株式会社クレハ

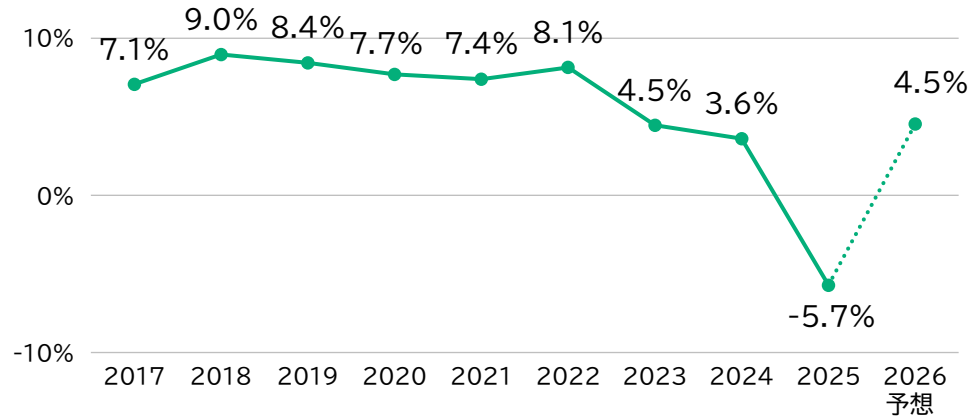


KUREHA

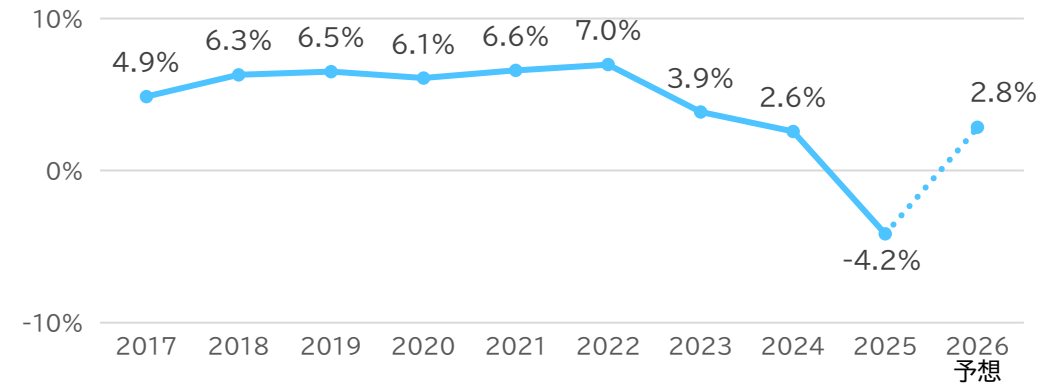
主要指標(2)

株式会社クレハ

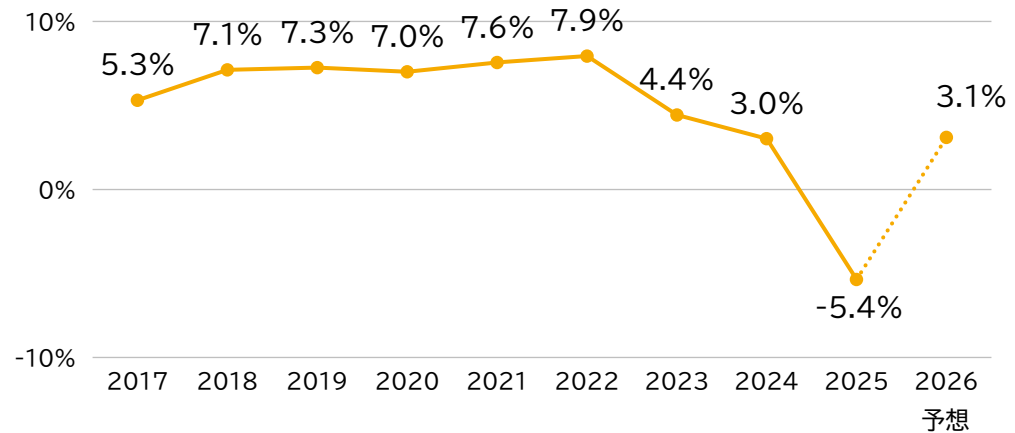
ROE



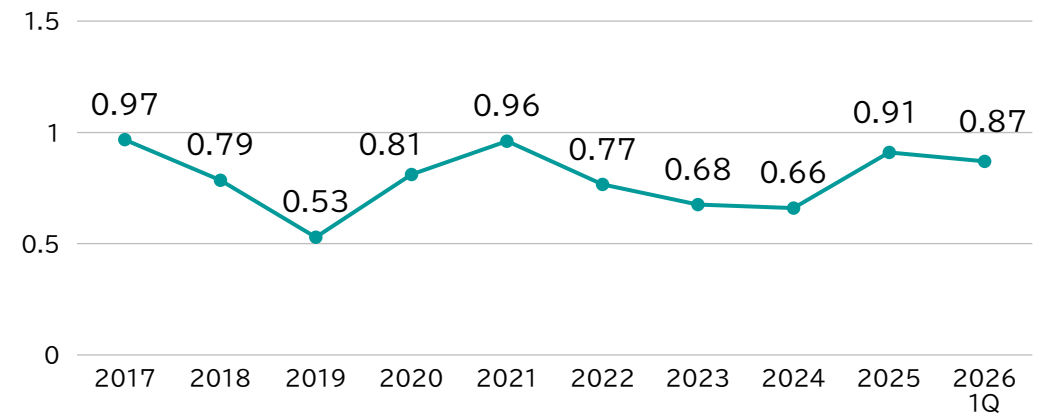
ROIC



ROA



PBR

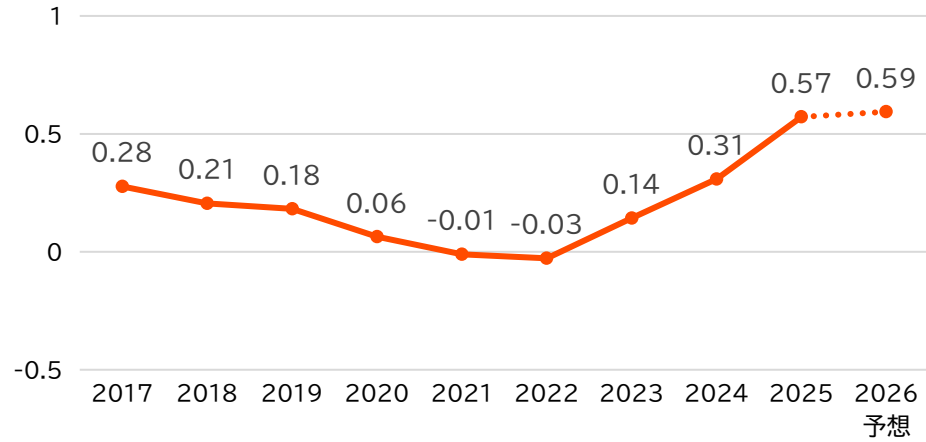


KUREHA

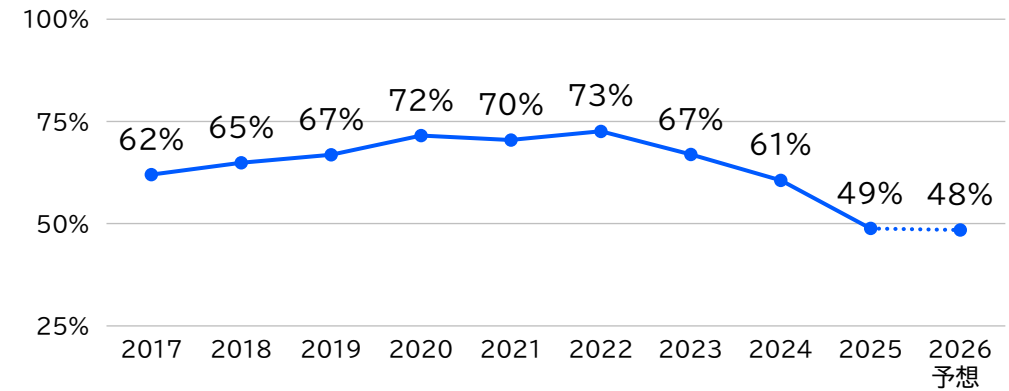
主要指標(3)

株式会社クレハ

ネットDEレシオ

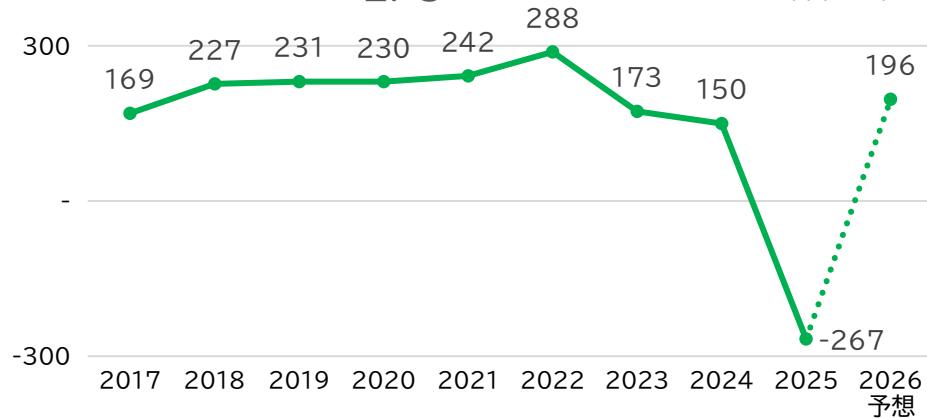


自己資本比率



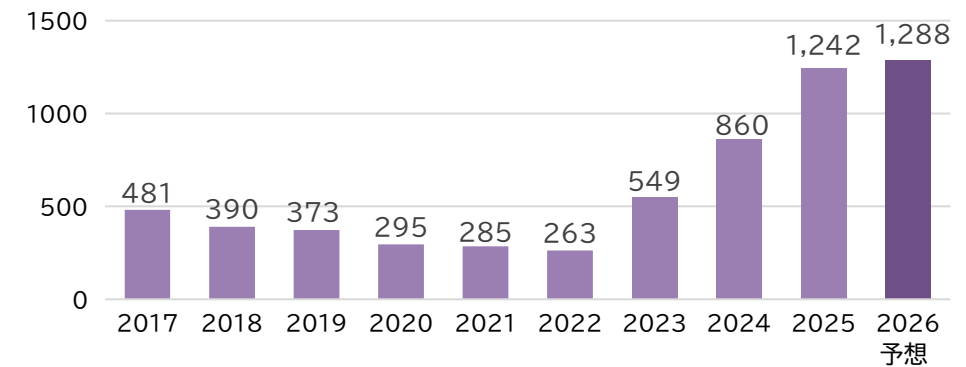
EPS

(単位:円)



有利子負債

(単位:億円)



2022年度以前も2024年1月1日付で実施した株式分割(3分割)後の数値で表示。

KUREHA

本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要因により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。